

KN グローカルリサーチレポート

2020年8月
No.51



3月に1名、4月に6名、6月に1名であった浜松市内での新型コロナウイルスの感染者数は、7月21日のクラスターでの感染を契機に87名（7/29現在）と拡大しました。

日頃のニュースから考察すると、浜松地域の傾向は、東京や大阪などとの大都市からの人的交流と、夜の「密」が関係していることがわかります。

表1は、東海道新幹線の東京口の「月次利用状況（対前年比）」です。この4月と5月に利用者は激減しましたが、6月から増加に転じ、7月は前年比約3割まで戻りました。夏休みを迎え、Go To トラベルキャンペーン等で利用が増えると予測されます。ビジネスにおいても、リモートで行っていた商談ですが、面談のための出張が増えそうです。

	2020年 1月	2月	3月	4月	5月	6月	*7月
のぞみ	103	92	40	10	10	28	34
ひかり	102	91	37	8	9	25	29
こだま	103	93	50	15	13	32	36

JR東海 IR 決算資料より作成 (*7月14日まで)

一人一人がウイルスの特徴を理解し、予防を心掛けると共に、IT 機器をうまく利用して、ニューノーマル時代をビジネスチャンスに変えていきましょう。

短い日照時間

今年は6月10日頃に梅雨入りしたが、梅雨明けが遅れている。

	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年	平年
梅雨入り	6/3頃	6/4頃	6/21頃	6/5頃	6/7頃	6/8頃
梅雨明け	7/24頃	7/28頃	7/15頃	7/9頃	7/24頃	7/21頃

気象庁の統計から作成

7月の日照時間も昨年を下回り、平年の半分以下となっている。近年では2009年の梅雨明けが8月3日頃で、この年は、長雨でキュウリやトマトなどが枯れたり、梅雨明け後も涼しく、夏物関連の商品やサービスの売上げが不振だった。

今年の夏は、既に、コロナの影響で自粛による経済活動の縮小が予測されるが、これからの天気にも注意が必要だ。

数年前から、日々の気象データと AI で、客数や売上げなどの需要を予測する「ウエザーテック」をビジネスに生かす動きがある。

日	平年	昨年	今年
6月計	146.5	170.7	150.9
7月1日	4.6	0.1	0
2	4.7	0.4	12.8
3	4.8	2.3	0.4
4	4.8	2.1	0.2
5	4.9	0	0.7
6	4.9	0.3	0
7	5.0	0.2	0
8	5.0	0	0
9	5.0	2.2	0
10	5.1	10.6	0.9
11	5.1	0.2	0
12	5.2	6.5	4.0
13	5.2	0.2	0
14	5.3	0.4	0
15	5.4	0.1	2.8
16	5.5	0.1	8.7
17	5.7	6.7	0
18	5.8	1.6	2.3
19	6.0	1.2	7.4
20	6.1	1.5	4.9
21	6.2	0	0.1
22	6.4	0.3	10.8
23	6.5	9.7	0.9
24	6.6	7.0	0.9
25	6.6	6.7	0.9
26	6.7	6.5	0.2
27	6.7	0.8	0.5
28	6.7	9.7	2.7
29	6.7	7.4	
合計	163.2	84.8	66.7

気象庁の統計から作成

都市計画マスタープランの改定

1. 改定の経緯

都市計画マスタープランは、都市計画法第 18 条の 2 に基づく「市町村の都市計画に関する基本的な方針」として定めるもので、土地利用や都市交通、都市防災など、都市計画区域内の基本的な考え方や基本方針などを示し、将来の都市構造の目標を掲げていおり、浜松市の都市計画の基本的な方針となる。

浜松市では、市町村合併や政令市移行などに対応して、2010 年 5 月に「浜松市都市計画マスタープラン」を策定したが、新たに生じた課題や社会経済情勢の変化に対応するため、改定することとなった。

都市計画マスタープランが決定すると、この計画に沿って、今後の浜松市の国土の面的整備（私たちの日常生活での土地の利用（宅地、農地、工業用地）や公共交通、環境など）の原則指針となる）が行われていくことになる。

2. 都市の現状と主な課題例

- ・市街化区域では、人口密度の低下による都市の空洞化や低未利用土地の増加によるスポンジ化が進行しているが、市街化調整区域では人口が増加し、都市の外延的拡大が進行している。よって、市街化調整区域における住宅開発の抑制が必要
- ・中心市街地の商業機能が低下し、歩行者も減少している。よって、都心の再生や都心空間の魅力向上が必要

3. 目標

- ①コンパクトで暮らしやすい持続可能な都市づくり
- ②多様な産業・資源を活かした都市活力の持続・向上を支える都市づくり
- ③創造都市の顔である都心の再生に向けた都市づくり
- ④自然環境の保全・創出と環境負荷の小さな都市づくり
- ⑤安心・安全な災害に強い都市づくり



4. パブリックコメント（意見募集とその期間）

- ・令和 2 年 8 月 3 日（月）～ 9 月 1 日（火）
- ・意見の提出は、右の QR コードを参考にしてください。
- ・問い合わせ：浜松市都市計画課 ☎ 457-2644



【パブリックコメントとは】

市が計画や条例などの案を事前に公表し、市民の皆さんからのご意見を伺い、寄せられたご意見に対して市の考え方を公表するとともに、その寄せられたご意見を考慮して最終案を作っていく、一連の手続き

執筆 = 西川公一郎：元浜松市議会議員、防災士
(公社)子どもの発達科学研究所 事務局長
浜松市中区 在住 ko-ichi@24kawa.org